

News Release

2009年11月25日

ディーリンクジャパン株式会社

## D-Link 製品が台湾 台北県政府の NGN プログラム キャンパスネットワークプロジェクトに採用

ネットワーク機器・製品ソリューションをグローバルで展開する D-Link Corporation は、台湾 台北県政府の NGN (Next Generation Network) プログラムであるキャンパスネットワークプロジェクトの入札で落札いたしました。台北県内の 290 以上の小・中学校に D-Link 製品とサービスが導入されます。

この入札によってD-Linkは、小・中学校へL3スイッチ、L2PoEスイッチ、無線アクセスポイント、VoIP電話、統合管理システムを含めた約20,000台以上のネットワーク機器とサービスを提供します。さらにD-Linkは、統合ネットワークマネジメントソフトウェアD-Viewにサードパーティのアプリケーションを追加し、キャンパスネットワークを統合管理するソリューションも提供します。

この入札は単に入札価格だけを競うものではなく、D-Linkが提案した革新的なサービスそしてリーズナブルな価格含めて、D-Linkのこれまでの経験と成果、高い製品仕様、総合的なインストール計画、プロジェクト管理、システムメンテナンスを含む諸必要条件を含め評価されたものです。

「D-Linkがお客様へ信頼できるサービス、我々の統合力を示す高機能なネットワーク製品、そしてトータルネットワークソリューションを提供し続けていることを非常に誇りに思っています。この入札にて落札できたことは、D-Linkにとって大きな成果です。そしてこの事例は、全世界の教育セクターで大きな影響を与えるでしょう。」と社長兼最高責任者でもあるTony Tsaoは述べています

また、Tony Tsaoによれば、「D-Linkはコンシューマ市場に非常に精通しています、しかし近年D-Linkは、教育セクターにフォーカスし、パーティカル市場でシェアを広げるために積極的に戦略を展開してきました。D-Linkは、少数のクラスルーム規模からキャンパス規模、または大規模なバックボーンの再構成におよぶさまざまなソリューションを持っています。また、我々は教育市場で最新のコンピュータ技術を導入する必要性を理解しています。そしてお客様にあわせたリーズナブルな価格でソリューションを提供することができます」と付け加えました。

**【D-Link 社について】**

世界 68 ヶ国、166 拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は 20 年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレス LAN 製品群、メディアコンバーター、IP カメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワーキングの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を”統合”させることを理念とし、現在はセキュリティと “グリーン IT” に注力しています。日本では OEM 事業を展開した後、2005 年 7 月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link 製品の国内への浸透を図っています。